

今冬、11月中旬からインフルエンザを含めた急性呼吸器感染症が流行しています。

2025.11/28 東京外国語大学 保健管理センター

2025年冬のインフルエンザは、例年より早く11月中旬より全国的に「警報レベル」に達する大流行となっています。また今後の更なる感染拡大が懸念されています。

急性呼吸器感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用」を含む「咳エチケット」等の基本的な感染対策が有効です。高齢者や基礎疾患のある方と会ったり大人数で集まったりする場合や、大学での授業に参加したり課外での活動をしたりする場合等でも、マスクの着用を含めた感染症対策を推奨します。

高熱を伴う感染症状がある場合やいつもの風邪より強い症状がある場合等は、かかりつけや近隣の医療機関を受診するようにして、診断に基づいた適切な治療を含め、しっかりと療養しましょう。

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等を含む学校感染症に罹患した場合は、[「インフルエンザに罹患した場合」](#)・[「新型コロナウイルス感染症に罹患した場合」](#)や[「学校感染症に罹患した場合」](#)等をご確認ください。

参考 URL :

令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症（ARI）総合対策

<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2025.html>

インフルエンザの発生状況（厚生労働省：報道発表資料）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou01/houdou.html

学校において予防すべき感染症の解説（日本学校保健会）

https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_R050080/index_h5.html#1